



2024年1月号

代表 浅原の挨拶

新しい年、2024年が始まりました。今年度もあとわずかとなりましたが、事業所での時間を使って、毎日の生活を大切に楽しく暮らせる工夫をしていきたいと思ひます。そして、「子どもたちの将来につながる療育」を進めていきたいと思ひます。

今回は、子どもたちへの接し方についてお伝えしようと思ひます。

① 子どもたちに何かを伝えるときは、肯定的に伝えるとわかりやすいです。

例えば、「走らないで！！」と言ってしまうと、「走る」という行動を止められても、その代わりにどうすればいいかわからない子どもがいます。「歩こうね」と伝えることで、走らないで歩けばいいことがわかります。要は「〇〇をしない」「ダメ！」と伝える場合は、「その代わりにしてもいいこと」を伝えることで、子どもたちが行動できるようになるということです。

② 比較したり対になる言葉を教えたりする場合には、差のあるもので体験するとわかりやすいです。

例えば、みなさんは「歩く」と「走る」をどうやって区別していますか。たぶんみなさんは、どこまでが「歩く」でどこからが「走る」かを感覚で理解していると思ひます。「走らない！」と言われても、自分が走っているのか走っていないのかわからない子どもがいます。そんな時には、「あ・る・く」とゆっくり言いながら子どもと一緒に歩いて、そのペースを体験してもらおうと「歩くという感覚」が伝わりやすくなります。そして、「走る」を教えるときには子どもと一緒に思いっきり走る。最初に両極端な体験をすると、その意味がわかりやすくなります。「歩く」と「走る」の意味が感覚でわかってきてから、一般的な「歩く」「走る」を体験していくと、区別が付きやすくなります。数量の概念などを教える時も同じです。子どもにとって、どんなことがわかりやすいかを知ること、よりスムーズなコミュニケーションが生まれ、それが子どもたちとの信頼関係に繋がっていきます。

今年も子どもたちの思いを大切に受け止められるように、職員一同、自己研鑽に努めて参ります。そして、保護者の方のご意見や思いを取り入れた療育を進め、保護者のみなさまに安心していただけるよう努めて参ります。今後もみなさまのご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

新しい年がみなさまにとって、笑顔溢れる素敵な年になりますよう心からお祈り申し上げます。

クリスマス

リースに飾るオーナメントを作ったり、手形やシールでゆきだるまを作ったりしました。



ぼくの て、みてみてー



いもほり

11/14(月)畑の所有者の方のご厚意でいもほり体験をしました。カいっばいいもを引っ張ったり、ふわふわの土の上を歩いたり、ミミズやダンゴムシを見つけたり、貴重な経験をしました。

たくさん おいもが とれたよ!
みんなで きねんしゃしん。

